

平成24年12月 7 日

都道府県普及協会 事務局長 様

一般社団法人全国林業改良普及協会  
専務理事 渡辺 政一

「林業新知識」及び「現代林業」のCPD通信教育教材への認定  
についてのお知らせとお願い

当会発行の月刊誌「林業新知識」及び「現代林業」が、一般社団法人森林・自然環境技術者教育会（JAFEE）が実施しているCPDの通信教育教材として、新たに認定されたことをお知らせいたします。

CPDとは、技術者の技術水準を確保するために行われる技術者継続教育のことです。技術者の資格制度において、資格更新に当たってCPDの受講が要件となったり、国や都道府県による公共事業発注等に当たって、受注者にはCPDを実施していることが要求されるようになってきています。

森林・林業関係においても、国有林や一部都道府県での森林土木事業や森林整備事業等の入札において、CPDを実施していることが受注面で有利となり、また、林業技士制度においては、資格取得から5年後の再登録にあたり、一定以上のCPDの実績が必要とされています。

森林・林業関係のCPDに関しては、JAFEEがCPDプログラムの提供、受講履歴の記録及び証明等を行っています。

JAFEEのCPDでは、①研修会への参加、②論文等の発表、③職場内研修、④技術指導、⑤通信教育の5分野があり、これに取り組むと分野・内容に応じて定められた点数を得ることができる仕組みとなっています（詳細は、JAFEEのホームページに掲載 [アドレス](#)）。

現在、JAFEEのCPD制度に会員として加入している技術者は、林業土木関係の会社やコンサルタント、素材生産や造林・保育を行う事業体の社員などで4,000人を上回り、上記①から⑤のプログラムを活用して必要とされるCPDの得点（時間数換算）の確保に取り組んでいます。

今回、JAFEEのCPD通信教育の教材として「林業新知識」及び「現代林業」が認定され、JAFEEが指定した掲載記事を教材としてレポートを提出することによりCPDの得点（1回につき4時間、年間限度20時間）が得られることになりました。

CPDプログラムのうち、通信教育は、研修会への参加とともに取り組み易く、内容が難しい他の通信教育教材に比べて「林業新知識」及び「現代林業」の記事は使いやすいものと考えられます。

また、林業技士（資格登録者数約3,500人）の再登録のためのCPDとして、JAFEEが認定した通信研修教材による自己学習（指定された雑誌等の定期購読だけでよい。）が認められており、例えば「林業新知識」と「現代林業」の2つの定期購読を行えば再登録に必要なCPD6点（5年間で30点）が確保できることとなります。

このため、「林業新知識」や「現代林業」の新規購読者として、これまで数が少なかった森林土木や森林整備関係の会社やコンサルタント等の関係者が期待されることから、本会においては、森林土木(治山、林道) 関係及び森林整備(素材生産、造林) 関係の全国規模の団体や林業技士会等に、「林業新知識」及び「現代林業」がCPD 教材に認定されたことをお知らせし、会報や電子メールによる所属会員への周知をお願いし、実施していただいています。

都道府県協会におかれましても、上記についてご承知おきいただくとともに、「林業新知識」及び「現代林業」の購読者拡大に向けて、都道府県レベルの森林土木や森林整備事業関係団体、林業技士会支部等に周知いただきますようお願いいたします。

#### 参考1

これまでのJAFEEの認定を受けた通信教育教材は、次のとおりであり、これらは内容が比較的難しいことから、内容が平易で幅広い利用が見込める「林業新知識」及び「現代林業」が通信教育教材として追加されたと聞いています。

- JAFEEのこれまでのCPD通信研修教材
  - ・「森林技術」(日本森林技術協会)
  - ・「フォレストコンサル」(森林部門技術士会)
  - ・「林業技士会ニュース」(日本林業技士会)
  - ・「森林科学」(日本森林学会)
  - ・「コンサルタント北海道」(日本技術士会北海道支部)

#### 参考2

「林業新知識」及び「現代林業」の中から通信教育の課題として指定された記事は次のとおりです。

- 最近の「林業新知識」掲載記事のうち課題教材に指定されたもの
  - ・11月号 「木の駅」に集めて林地残材を宝に
  - ・9月号 軽トラ林業で山から収入を
  - ・9月号 境界明確化で山主の選択枝が増えた
- 最近の「現代林業」掲載記事のうち課題教材に指定されたもの
  - ・11月号 需給ミスマッチが招いた価格の暴落
  - ・10月号 林業技術者のプロとしての生き方
  - ・9月号 人工林率3割の地域で森林経営計画認定にチャレンジ
  - ・9月号 現地実証進む・低コスト造林(特集1～特集5)

#### 参考3

本会から、森林土木、森林整備関係の全国団体や日本林業技士会に対して、会誌への掲載や会員へのメール送信をお願いした際の文書は、別紙のとおりです。

## JAFEEの森林CPDに関するお知らせ

森林・自然環境技術者教育会（JAFEE）が実施している森林CPDの通信教育課題教材として、月刊誌「現代林業」及び「林業新知識」（いずれも一般社団法人全国林業改良普及協会発行）が新たに追加されましたので、お知らせいたします。ご活用ください。

なお、通信教育の1課題当たりの時間算定係数は4、年間上限は20となっています。

月刊誌「現代林業」、「林業新知識」の出版元による紹介文は次のとおりです。詳細は、（一社）全国林業改良普及協会のホームページ（「全林協」で検索可）でご確認ください。

### ☆☆☆G R 『現代林業』の紹介☆☆☆

最新の林業動向を現場目線で専門家が分かりやすく解説しています。「現場主義」をモットーに、林業のトレンドをリードする業界誌として、長きにわたり「オピニオン+情報提供」を展開してきた林業専門誌です。林業事業体や行政担当者などの林業業界関係者が知りたい話題のテーマ等について、丁寧な現場取材、専門家の執筆で分かりやすく紹介しています。目玉となる「特集」では、路網技術（林業専用道及び森林作業道のルート選定、施工技術等）、地域レベルでの林業経営、森林経営計画、木質バイオマス、人材育成、地域材戦略など、タイムリーな時事テーマを取り上げています。

#### ●最近の特集等主要記事内容

- ・実践モデルに見る 森林経営計画策定の実際（2012年6月号）
- ・林業専用道の要点はここだ！—より深い理解のために（2012年3月号）
- ・林業専用道・森林作業道読み方シリーズ これが林業専用道だ！（2011年8月号）
- ・ドイツ フォレスターに聞く伐出・路網・森づくり技術の実際  
道づくりⅡ 私見 屋根型構造の道づくり技術（2012年3月号）  
道づくりⅠ 私見 欧州道づくりの基本姿勢（2012年2月号）

### ☆☆☆『林業新知識』の紹介☆☆☆

月刊誌「林業新知識」は、林家や現場技術者など、実践者の技術やノウハウを現場で取材し、読者の山林経営や実践に役立つディティール情報が満載。「私も明日からやってみよう」。そんな気持ちを応援します。

後継者の心配、山林経営への理解不足、自然災害の心配、資産価値の維持など、みなさんの課題・疑問をいっしょに考える雑誌です。一人で不安に思うことも、本誌でいっしょに考えれば、いいアイデアも浮かびます。

#### ●山林所有者に向けて

地域を代表する林業家、熱心な林研グループ、定年後に山へ足繁く通う人、山を楽しんで活用している人などを訪ね、経営ノウハウ、施業技術、所有林の活用・デザイン術、後継者に継いでいく家族のドラマなどを紹介しています。

#### ●山仕事の実践者に向けて

自伐林家や現場技術者による、安全で効率よく作業できる実践技術やアイデア、工夫を凝らした林業機械や道具の使い方、海外発の新しい技術などを紹介しています。

JAFEEの森林CPDに関するお知らせ（短縮版）

森林・自然環境技術者教育会（JAFEE）が実施している森林CPDの通信教育課題教材として、月刊誌「現代林業」及び「林業新知識」（いずれも一般社団法人全国林業改良普及協会発行）が新たに追加されましたので、お知らせします。ご活用下さい。

なお、通信教育の1課題当たりの時間算定係数は4、年間上限は20となっています。

月刊誌「現代林業」及び「林業新知識」の内容の詳細は、（一社）全国林業改良普及協会のホームページ（「全林協」で検索可）でご確認下さい。